

令和8年田原本町子ども議会会議録

令和8年7月30日

午後1時45分 開会

於田原本町議会議場

1, 子ども議員（7名）

1番 梅 田 遼 君

2番 杉 本 陽 君

3番 吉 田 幸 誠 君

4番 坂 口 颯 哉 君

5番 向 出 奈津希 君

6番 福 岡 望 君

7番 西 田 旬 祐 君

1, 出席した田原本町議会議員（11名）

後 藤 亮 太 君

名 越 豊 君

梅 本 直 子 君

宮 川 隆 男 君

前 砂 政 直 君

杉 岡 雅 司 君

梅 谷 裕 規 君

藤 井 誠 人 君

村 上 清 司 君

西 川 六 男 君

植 田 昌 孝 君

1, 出席した議会事務局職員

議会事務局長 羽 山 卓 哉 君

議事係長 安 倍 江 美 君

1, 出席した執行部職員

町 長 高 江 啓 史 君

副 町 長 工 藤 華 代 君

町長公室長 中 辻 勇 君

総務部長 森 恵 啓 仁 君

教 育 長 大 村 泰 弘 君

教育部長 森 淳 一 君

産業建設部参事 寺 井 昭 博 君

令和8年田原本町子ども議会議事日程

7月30日(木曜日)

○開 会(午後1時 45 分)

○田原本町長挨拶

○出席者紹介

○一般質問

1. 4 番 坂 口 颯 哉 議員
 1. 横断歩道について
2. 2番 杉 本 陽 議員
 1. 特別支援学級の先生について
3. 7番 西 田 旬 祐 議員
 1. ボール遊びの場所について
4. 6番 福 岡 望 議員
 1. 寺川のゴミについて
5. 5番 向 出 奈 津 希議員
 1. ごみのポイ捨てについて
6. 3番 吉 田 幸誠 議員
 1. 公園の数の少なさについて
 2. 交通をもっと利用しやすくについて
7. 1番 梅 田 遼 議員
 1. 交流の場をつくることについて
 2. 夏の通学路について

○感想発表

○田原本町議会議長講評

○閉 会

本日の会議に付した事件
議事日程に同じ

午後1時45分 開会

○議長(吉田幸誠君) 皆さん、こんにちは。ただいまから、令和8年田原本町子ども議会を開会します。

私は、本日の会議の議長役を務めます吉田幸誠です。また、副議長役には梅田遼議員に務めていただきます。皆さん、議事進行にご協力をお願いします。

本日の会議には、報道機関から取材の申込みがあり、写真等の撮影を許可していますので、ご了承のほどよろしくお願いします。

まず初めに、田原本町高江啓史町長からご挨拶をいただきます。
町長。

○町長(高江啓史君) 皆さん、改めましてこんにちは。

まず、このたびの令和8年熊本地震によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、そのご家族並びに関係者の皆様に謹んでお悔やみを申し上げます。

また、被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

田原本町といたしましては、簡易トイレ、トイレトレーラーの現地派遣や備蓄品の提供を視野に入れながら、現地の担当者と現在会話をしておりますので、議員の皆様方におかれましても、どうか引き続きのご理解とご協力をお願いしたいと思います。

さて本日、田原本町子ども議会ということで招集をいたしましたところ、7名もの議員の皆様 hands 手を挙げていただいて、ご参集を賜り、誠にありがとうございます。

この議会という場は、自分たちの町をよりよくしていくために、町民の皆さんの代表たる町議会議員の皆さん、そして我々田原本町役場の職員が一緒になって集まって、まちづくりのルール、よく条例と言いますけれども、そういった条例をつくったり、あるいは田原本町の予算、お金ですね、6年生の皆さんなので恐らく十分承知だと思いますが、田原本町が1年間でどれくらいのお金を使っているか、250億円くらいのお金を使っていますが、その250億円の使い方を決める、そういったいろいろなことを話し合っているのが、この議会の場所です。

本日は、皆さんが普段の生活の中で気になっていること、あるいは、もっとこうしたほうが町がよくなるんじゃないか、そういったことを実際の議会における質問、提案と同じ形式、一般質問と言いますが、その形式で質問を受けさせていただいて、私と教育長が中心になって、本気で答弁をさせていただきたいなと思っております。

皆さんがまちづくりとか田原本町のことを自分事として考えていただいて、この子ども議会に手を挙げてくださったこと、これが何よりも私はうれしいです。すごくうれしいです。

本日の質問が、今一度、このまちづくりとか田原本町のことを考えるきっかけになればというふうに思っておりますので、長丁場になりますがどうかよろしくお願いします。開会の挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

○議長(吉田幸誠君) 次に、出席者の皆さんを紹介します。まず、子ども議員を議席番号順に紹介します。

1番、梅田遼議員です。2番、杉本陽議員です。3番、私、吉田幸誠です。4番、坂口颯哉議

員です。5番、向出奈津希議員です。6番、福岡望議員です。7番、西田旬祐議員です。

続いて、田原本町議会議員の皆さんを紹介します。まず、子ども議員のサポート議員の皆さんです。梅田議員のサポート議員、後藤亮太議員です。杉本議員のサポート議員、名越豊議員です。私、吉田幸誠のサポート議員、梅谷裕規議員です。坂口議員のサポート議員、梅本直子議員です。向出議員のサポート議員、杉岡雅司副議長です。福岡議員のサポート議員、村上清司議員です。西田議員のサポート議員、前砂政直議員です。最後に、藤井誠人議会改革特別委員会委員長です。

続いて、その他の議員の皆さんです。西川六男議員です。宮川隆男議員です。

続いて、理事者の皆さんです。高江啓史町長です。工藤華代副町長です。大村泰弘教育長です。中辻勇町長公室長です。森恵啓仁総務部長です。森淳一教育部長です。寺井昭博産業建設部参事です。

以上で、出席者紹介を終わります。

これより一般質問を行います。質問の順番は、お手元に配付しました通告一覧表にある順番のとおりです。制限時間は、答弁を含めまして15分とします。

それでは質問通告順により、順次質問を許します。最初の質問者は、4番、坂口颯哉議員。

○4 番(坂口颯哉君) 横断歩道について。田原本小学校の近くにある小阪医院前の交差点は、まず1つ目の横断歩道を直進します。その後、また横断歩道を右に渡って、反対の歩道まで歩きます。そのため、2つの横断歩道を渡らなければいけません。

青信号の間に、部団全員が1回で渡り切れないことがあります。焦って走ると危ないですし、雨の日は待つ時間が長くなって濡れてしまうこともあります。部団で渡る途中で2つに分かれてしまうこともあるので困っています。

その交差点を、東京都の渋谷区にあるスクランブル交差点のように、斜めに渡ることはできないのでしょうか。スクランブル交差点のように部団が分かれることなく一気に渡れると、登校や下校がしやすくなると思います。安全に登下校できるように考えていただきたいです。

○議長(吉田幸誠君) 教育長。

○教育長(大村泰弘君) 4番、坂口颯哉議員の第1番目、「横断歩道について」のご質問にお答えいたします。

登下校の安全について、素晴らしい提案をいただき、ありがとうございます。「みんなが安全に登下校できる通学路にしたい」という思いは、私たちも全く同じです。

お尋ねいただいた小阪医院前の交差点は、通学路の対策が必要な箇所として、町の「通学路交通安全プログラム」にも登録しており、既に学校、教育委員会、警察、道路の管理担当者等と、どうすれば皆さんが安全に通行できるかを何度も話し合いをしている、とても重要な場所です。

スクランブル交差点にするためには、斜めに渡ることで、本当に今より安全が確保できるのか、車の渋滞が増えてしまわないか、歩行者の待ち時間が長くなり過ぎないかなど、クリアしなければならない高いハードルがあり、残念ながら、今すぐ実現することはできま

せん。

しかし、皆さんが「焦って走ると危ない」「雨の日に困っている」という気持ちは、私たちも心から共感しています。すぐに形にすることは難しくても、「安全に登校してほしい」という強い思いを共有しながら、これからも警察や関係者の方々と粘り強く協議を重ね、一步步安全な環境づくりを進めていきます。

以上、答弁とさせていただきます。

○議長(吉田幸誠) 坂口議員。

○4 番(坂口颯哉君) 再質問させていただきます。横断歩道の青信号の間の時間が13.83秒しかないので、1回で渡り切ることができません。せめて、横断歩道の時間を20秒くらいに延ばすことは可能でしょうか。

○議長(吉田幸誠) 町長。

○町長(高江啓史) ご提案をいただきまして、ありがとうございます。横断歩道とか信号の時間とかというのは、原則として警察が管理をしています。どこに横断歩道をつけるとか、あるいは信号を何秒にしようか、延ばそうか短くしようか、そういった中で、我々町としても、我々役場もそうですし、教育委員会、学校もそうですし、子どもたちがいかに安全に通学をしていただけるか、そういったことを考えながら警察とも協議をしています。

今、議員から、信号が13.83秒と、非常に正確に測っていただいたのだらうと思いますし、それがもう少し長くなれば、通学がもっと安全になるのだらうというのは、まさにその信号を使っている当事者の声だと思いますので、そういった声も警察にはしっかりと届けさせていただいて、一番最初にございましたスクランブル化もそうですし、信号がもう少し長ければ安全に渡れるのではないかと、そういうふうな声も大切にしながら、警察としっかりと協議をしていきたいと考えております。

以上です。

○議長(吉田幸誠) 坂口議員。

○4 番(坂口颯哉君) ありがとうございます。以上で再質問を終わります。

○議長(吉田幸誠君) 以上をもちまして、4番、坂口颯哉議員の質問を打ち切ります。
続きまして、2番目の質問者は、2番、杉本陽議員。

○2番(杉本陽君) 議長の許可を得ましたので、一般質問を始めます。

特別支援学級の先生について。僕は、困った時にすぐに気軽に相談できるようにするため、先生の人数を増やしてほしいです。提案した理由は、僕は勉強や生活で困ったことが多いからです。

そのときに、普段相談できる先生はいますが、その先生は僕だけじゃなくて、ほかの子

どもの相談にも乗らなくてははいけません。だから、すぐには相談できないときもあります。もし先生が増えたら、相談がさらにしやすくなります。

そこで、先生を増やすための方法を3つ考えました。

1つ目は、役場の人や図書館の人を呼ぶ方法です。考えた理由は、同じ公務員だからいけると思ったからです。図書館は、図書館費として7,647万円、人件費として5,385万円をいただいている。自動貸出機の活用はされていて、人数の削減はされているが、正社員を減らしてパートを増やす。本を直すのはボランティアやシルバー人材に依頼する。そうすることで、正社員の人数を削減することができる。役場は週に5日出勤しているが、週4日の出勤にする。また近くの市町村の役場の人と協力することで、人数を減らすことができる。そして、役場の窓口を機械化したら、人数に余裕ができると思います。

2つ目は、スカウトして募集する方法です。よいところを伝え、来てくれると思います。教師になるには、試験があります。その試験を受けるにあたっては、現役の先生たちが分からないことなどをサポートしたらいいと思います。

3つ目は、塾の先生を呼ぶ方法です。学校と同じで、子どもたちに勉強を教えることができると思ったからです。

以上で一般質問を終わります。

○議長(吉田幸誠君) 教育長。

○教育長(大村泰弘君) 2番、杉本陽議員の第1番目、「特別支援学級の先生について」のご質問にお答えいたします。

学校生活で困ったときにすぐ相談をしたいという気持ちや、どうすれば人を増やせるのかを、町のお金の仕組みまで一生懸命に調べて、3つの方法を考えてくれたこと、大変うれしく思います。

学校で、困ったときにすぐに相談に乗ってくれる大人の存在は、とても大切です。本当にすばらしい提案です。

まず、1つ目の「役場や図書館の仕事を効率化して人を呼ぶ」方法につきましては、実は、今の役場や図書館も限られた職員の数で、たくさんの仕事を行っております。そのため、オンラインで手続きができるようにしたり、窓口の仕事をまとめたりして、みんなで工夫を重ねて仕事を減らす努力をしているところです。

また、学校で勉強を教えたり、相談に乗ったりする先生になるには、教員免許が必要です。例えば、生活を助けてくれるこども支援員として、役場や図書館の人が学校へ行って、子どもたちの相談に乗るということは、仕事の内容が違うので、少し難しいのが現状です。

2つ目の「田原本小学校の良さを伝えて仲間を集める」方法につきましては、町としても、学校の魅力をホームページなどでしっかりアピールして、働きたいと思う人を増やしていきます。

3つ目の「勉強を教えるのが得意な塾の先生に協力してもらう」方法につきましては、今、学校では、地域の方々と協力して子どもたちを育てる「コミュニティスクール」という考え方を大切にしています。

塾の先生も含めて、地域の方々にボランティアなどで学校をサポートしてもらうアイデ

アは、まさにこの考え方にぴったりです。すぐに行くことは難しいですが、地域の方の力を借りる仕組みを、これからどうつくっていきけるか、よく考えていきます。

特別支援学級の担任の先生を増やすルールは、主に国や奈良県が決めています。学校で皆さんを助けてくれることも支援員というサポートスタッフについては、町がお金を出して、学校に続けて来てもらえるようにすることができます。

町では、「困っているときにすぐ助けてほしい」という声に応えるため、限られたお金の中で、毎年工夫をしながら、支援員さんをはじめ、いろいろな関係機関と連携して、相談しやすい体制づくりに一生懸命取り組んでまいります。

これからも、いただいたアイデアをヒントにしながら、みんなが安心して楽しく学べる学校にできるよう、全力で取り組んでいきます。

以上、答弁とさせていただきます。

○議長(吉田幸誠君) 杉本議員。

○2番(杉本陽君) どうやって地域の方に助けてもらおうとしているのか、勧誘方法などがあれば教えてください。

以上です。

○議長(吉田幸誠君) 教育部長。

○教育部長(森淳一君) ご質問ありがとうございます。答弁でもございましたように、コミュニティスクールという制度がございまして、田原本町はこの制度を取り入れて、学校の運営を地域の皆様と一緒につくっていくというようなシステムで動いています。町の広報であったりホームページ等で、学校にいろいろ地域の方々が入っていただいて、ボランティア等の手伝いをしていただいて、子どもたちのためにも一緒になって学校運営をしていただけるというような取組を今もしていますので、これは引き続き、そういう周知を徹底して、地域のたくさんの方々が学校を助けてくれるような取組を、今後も進めていきたいと考えております。

以上でございます。

○議長(吉田幸誠君) 杉本議員。

○2番(杉本陽君) 以上で質問を終わります。

○議長(吉田幸誠君) 以上をもちまして、2番、杉本陽議員の質問を打ち切ります。

続きまして、3番目の質問者は、7番、西田旬祐議員。

○7番(西田旬祐君) 議長の許可をいただきましたので、一般質問をします。

ボール遊びの場所について。僕は、友達と遊ぶときによくボール遊びをします。キャッチボールやサッカーをしたいのですが、近くに広い遊び場所がありません。そのため、いつも

家の敷地内の駐車場でやっています。たまに別の敷地に入りそうで不便です。そのため、みんなでのびのびとボール遊びができません。田原本小学校では現在、仮設の運動場なので、かなり小さくなっています。このままだと、外でボール遊びをする場所が少ないので、外遊びに行く回数が減ってしまっていて、運動不足にならないか心配です。

そこでみんなが快適で安全にボール遊びができるところを増やして欲しいです。

以上で壇上からの質問を終わります。

○議長(吉田幸誠君) 町長。

○町長(高江啓史君) それでは、7番、西田旬祐議員の第1番目、「ボール遊びの場所について」のご質問にお答えをいたします。

安全・安心な遊び場の確保について、提案をいただきました。ありがとうございます。思い切り体を動かすことのできる環境づくりは、子どもたちの成長において、とても大切です。

現在、町には都市公園と呼ばれる公園が72公園あります。その中で、町が直接管理している公園が12公園あり、自治会を通じて皆さんで管理をしていただいている公園が60公園ございます。

町で管理している12公園のうち、駅前のイベント広場とはせがわ展望公園3号、この2つの公園については、ボール遊びが禁止となっておりますが、残りの10公園につきましては、ルールを守ってボールで遊ぶことができます。

また、自治会で管理をしていただいている60公園については、公園ごとにボール遊びについてのルール決めがされているところでございます。

なお、小学校の建て替え工事に伴い、運動場が仮設となり、皆さんには不便をおかけしておりますけれども、休み時間には体育館を開放するなど、できる限り影響を少なくするよう取り組んでいるところでございます。

そういった中、町では、令和8年、今年ですね、今年の3月に「ともぱ！たわらもと」という公園を新たにオープンいたしました。子どもから大人まで、多世代が安心して利用できるよう、大型トランポリンや、年齢、障害の有無にかかわらず利用できる遊具を設置しております。

今年度は第2弾の整備として、屋根付き広場とボール遊びができる広場の整備も計画をしています。屋根付き広場については、「みんなで育てる公園プロジェクト」と題して、みんなが参加できるイベントとして、7月21日にペンキ塗りイベントを実施し、そしてまた明日、7月31日には人工芝張りイベントを予定しております。

そして、ボール遊びができる広場については、高さ約3メートルのフェンスを新しく設置しまして、気兼ねなくボール遊びを楽しんでもらえるようにする予定で、今年の11月頃から利用を開始できるよう準備を進めております。西田議員のおっしゃるキャッチボールもサッカーも、気兼ねなくそこではできるかなと考えております。

なお、「ともぱ！たわらもと」は平野小学校校区にありますので、田原本小学校校区の児童が1人で放課後などに遊びに行くことは校則で禁止をされておりますけれども、そういった校則を廃止することも含めて、校則の柔軟な見直しも、今まさに検討をしています。

加えて、小学校の運動場については、夏休みなど長期の休み以外の平日の放課後は開放をしていますので、利用をしていただければと思います。

田原本小学校については工事期間中、仮設運動場となっておりますので、民家が近いことから、ボール遊びについては原則禁止となっておりますけれども、仮設運動場の西の端の体育倉庫の壁に設置をしているバスケットゴールを利用したボール遊びはできますので、ぜひそちらについてもご利用いただければと思います。

様々ご提案をいただきましたけれども、引き続き、皆さんの最善の利益のために頑張っ
てまいりたいと思いますので、どうかよろしく願いをしたいと思います。

以上、答弁とさせていただきます。

○議長(吉田幸誠君) 西田議員。

○7番(西田旬祐君) 町内の近くでは気軽に遊べる場所はどこにありますか。具体的な場所はどこにありますか。

○議長(吉田幸誠君) 町長。

○町長(高江啓史君) 田原本小学校の近くで公園がどれくらいあるかというふうなご質問と認識をしておりますけれども、公園は実はたくさんありまして、例えば周辺を申し上げますと、中八尾児童公園、八尾第2児童公園、西八尾第1公園、第2公園、第3公園、周辺だけでも10の公園があります。

ただ、議員がおっしゃるとおり、自由にボールで遊べる公園というのは、確かに少ない。これはやはり、今、道路でボール遊びをしているというふうなお話があったかなと思いますが、隣の家にボールが行きそうになって危ないというふうな話もあったかと思います。これは公園も同じで、公園の周辺のご自宅があります。そういうふうなところでボール遊びをしていると、やはり、そういったところに何かしらのご迷惑をおかけするようなことになってはいけませんので、それは我々と、そして自治会の皆さんと一緒に話し合っ
て、じゃあこの公園はボールを使えるようにしようとか、あるいはここは周りに家が近いのでボール遊びは禁止にしようとか、あるいは柔らかいボールだったら窓に当たっても割れないので大丈夫だよなとかいうふうに決めて、今、公園の運用をしています。

なので、田原本小学校の周辺という意味ではたくさん公園はあるんですけど、ボール遊びができる公園というところで申し上げれば、今、ご自宅がどこにあるのかちょっと承知を……知らない中でお答えをしますけれども、南八尾第1児童公園はボール遊びもオーケーとなっておりますし、そのほかの……これは理想ですけど、その地域ごとで、もっともっとボール遊びとか、その他の遊びも含めて、自分たちでルールをつくっていただくというのが、本来の公園の在り方かなと思いますので、今それぞれの公園でボール遊びができる
ところ、公園の数は多いけれどボール遊びが本気でできる所というのは、議員のおっしゃるとおり、まだまだ少ないので、議員のご指摘、ご意見も踏まえて、自治会の皆さんとかと一緒に、ここはボール遊びができるようにしようとか、そういうふうな議論をし
っかりと、これからも進めていきたいなと思っております。

以上です。

○議長(吉田幸誠君) 西田議員。

○7番(西田旬祐君) 遊び場についてはよく分かりました。

以上で再質問を終わります。

○議長(吉田幸誠君) 以上をもちまして、7番、西田旬祐議員の質問を打ち切ります。

続きまして、4番目の質問者は、6番、福岡望議員。

○6番(福岡望君) 議長の許可をいただきましたので、一般質問をします。

寺川のごみについてです。私は、登下校中に寺川の近くを通りますが、川に缶やスーパーの袋などのごみが流されているのをよく見かけます。さらに、大雨のときはごみが多くなっていると感じます。見ていると気持ちよくならないので、どうにかごみを減らしたいです。

そこで、ごみ拾いをしてはどうでしょうか。今までも町でごみ拾い活動をしているようですが、活動から日がたつと、またごみが落ちているようになります。寺川だけではなく、歩道、車道もです。

このことから、ごみ拾い活動の回数を増やしたらいいと思います。また、参加する人に子どもが少ない場合は、小学校の行事やイベントにしたり、参加した人には何か特典があるといいと思います。

以上で壇上からの質問を終わります。

○議長(吉田幸誠君) 町長。

○町長(高江啓史君) それでは、6番、福岡望議員の第1番目、「寺川のごみについて」のご質問にお答えをいたします。

皆さんが毎日通る道路や川にごみが落ちているのを見かけるのは、本当に残念なことですし、そういう気持ちを持っていただいて、大変うれしく思っています。

道路や川は、国、奈良県、そして町などがそれぞれ分担して管理をしています。例えば、寺川であれば、奈良県が管理をしていて、ごみなどの対応も奈良県が行っています。

町としての対応は、県とか企業などと協力をして、クリーンキャンペーン、あるいは大和川一斉清掃などに参加をし、清掃活動や拾われたごみの処理、こういったことを、町でも行っています。

また、町では、ボランティアで清掃活動を行う人や団体に対して、ボランティアごみ袋を配ることで清掃活動の後押しをしております。多くの皆さんが参加をいただいているところでございます。

寺川をきれいにしたいという福岡議員の気持ちは、本当に素晴らしいことだと思いますし、大変ありがたいです。

今後、小学生の皆さんにも参加してもらえるように、クリーンキャンペーンや大和川一斉

清掃などへの参加について、小学生の皆さんにもお知らせをすることや、学校での出前授業の機会を通して、ごみのない住みよい町をみんなでつくっていくことの大切さを、しっかりと伝えていきたいと考えています。

ごみ拾いをしても、日がたつとまたごみが落ちているとのことでありますけれども、残念ながら、ごみ拾いをするだけでは、ごみはなりません。

福岡議員のご意見も踏まえまして、そもそもごみのポイ捨てをしないように呼びかけていくことや、ポイ捨てをさせないためのルールづくり、そして、皆さんと一緒に清掃活動を実施する仕組みづくりが重要と考えておりますので、議員のご意見を踏まえて、それらを踏まえた新しい方針、条例化、ここは条例をつくる場所と申し上げましたが、条例化についても検討をしていきたいと考えております。

以上、答弁とさせていただきます。

○議長(吉田幸誠君) 福岡議員。

○6番(福岡望君) 以上で質問を終わります。

○議長(吉田幸誠君) 以上をもちまして、6番、福岡望議員の質問を打ち切ります。

続きまして、5番目の質問者は、5番、向出奈津希議員。

○5番(向出奈津希君) 議長の許可をいただきましたので、一般質問をします。

ごみのポイ捨てについて。最近、駅やいろいろなところで、ごみのポイ捨てや放置をする人などをよく見かけます。さらに、ごみ箱がないからと言い、ペットボトルを捨てるところにコーヒーの缶などが捨てられていることがあります。

そこで提案するのが、ごみ箱を増やすことです。ごみ箱の種類や捨てるところを増やしたり、色々なところにおいたりすると、ポイ捨てが1つでも減ると思います。

具体的にごみ箱を置いたほうがいいと思う場所は、公園、駅の近く、自動販売機の横だと思っています。

以上で壇上からの質問を終わります。

○議長(吉田幸誠君) 町長。

○町長(高江啓史君) それでは、5番、向出奈津希議員の第1番目、「ごみのポイ捨てについて」のご質問にお答えをいたします。

先ほど、6番、福岡議員からも、ごみの問題についてご質問をいただきました。皆さんがこの問題を自分事として捉えて、様々な提案をしていただいていること、大変うれしく思っています。

さて、駅前や道路などに、たばこの吸い殻や空き缶、ペットボトルなどのごみのポイ捨てや放置をされているということは、町としても状況を把握しておりまして、地域の皆さんのお力をお借りしながら、きれいな町になるように取り組んでおります。

町役場でも月に2回、仕事が始まる前に、田原本駅周辺から役場まで、私をはじめ職員

がごみ拾いをしております。先日のぎおん祭の翌々日にも、駅やお祭りの会場付近のごみ拾いを行いました。

また、町では、ボランティアで清掃活動を行う人や団体に対して、ボランティアごみ袋をお配りすることで清掃活動の後押しをしており、多くの皆さんに参加をいただいているところでございます。

皆さんが町をきれいにしたいという気持ちは、本当に素晴らしいことでございますし、ごみ箱を増やしたらポイ捨てが減るのではというふうな提案、これも大変よい提案だなと思います。

公園や駅の近く、自動販売機の横などにごみ箱があれば、確かにポイ捨てが減る可能性がございますので、分別の種類、誰がごみ箱を置いて毎日片づけるのか、どこに置くべきか、そういった論点をしっかりと整理していきたいと考えています。

また、向出議員のご意見を踏まえて、町としては、ごみ箱を増やすことも大切ですが、そもそもごみのポイ捨てをしないよう呼びかけていくこと、ポイ捨てをさせないためのルールづくり、そして、皆さんと一緒に清掃活動を実施する仕組みづくりが重要と考えておりますので、先ほども答弁を申し上げましたが、そういったことを踏まえた新しい方針、新しいルール、条例というものをつくっていけるように、検討をしていきたいと考えています。

皆さんには、学校での出前授業の機会を通して、ごみのない住みよい町をみんなで作っていくことの大切さを伝えていきたいと考えておりますので、ぜひ、引き続きご協力をいただきたいと思います。

以上、答弁とさせていただきます。

○議長(吉田幸誠君) 向出議員。

○5番(向出奈津希君) 再質問します。もし、ごみ箱が置けないのなら、「ポイ捨て禁止」と書いた看板やポスターを貼ったらどうですか。

○議長(吉田幸誠君) 町長。

○町長(高江啓史君) ありがとうございます。先ほど新しいルールづくり、条例をつくることを検討したいというふうに申し上げました。

その中で、どういうふうになれば、そもそもごみをみんなが捨てなくなるのか。それは、今、議員がご提案をいただいたような、「ここにごみを捨てないでね」と、「ポイ捨て禁止だ」と、そういう看板を掲げることも1つの答えだと思いますし、一番最初にご提案をいただいた、ごみ箱を設置するというのも1つの答えだと思います。

そもそも、ごみを捨てるということが非常によくないことだし、悲しいことですけれども、議員が認識をしていただいているとおり、やはり、ごみを捨てる方がいらっしゃいます。

だからこそ、どうすれば、みんながごみを捨てないような環境づくりができるかということを、今、2つご提案いただいたと思いますので、そういったことを踏まえながら、しっかりとルールづくりと、それを具体化していく取組、そういったことをやっていきたいと考

えています。

以上です。

○議長(吉田幸誠君) 向出議員。

○5番(向出奈津希君) 町長さん、よろしくお願いします。

以上で質問を終わります。

○議長(吉田幸誠君) 以上をもちまして、5番、向出奈津希議員の質問を打ち切ります。

暫時休憩します。副議長に議事進行をお願いしますので、しばらくお待ちください。

(暫時休憩)

(副議長、議長席に着く)

○副議長(梅田遼君) 再開します。続きまして、6番目の質問者は、3番、吉田幸誠議員。

○3番(吉田幸誠君) 議長の許可をいただきましたので、一般質問をします。

公園の数の少なさについて。小さい子や小学生などが遊ぶところが田原本小学校区内には少なく、津島神社などある特定のところばかりに偏って遊んでいます。そのため、遊具の順番待ちや、ほかの子を気にせず思い切り遊ぶことが、なかなか難しいです。

そこで、ほかにも校区内で利用しやすい遊び場所をたくさんつくってほしいです。

また、ほかの近所などにある小さな公園は、草がたくさん生えていたり、遊具が古くなってさびていたりするなど、少し使いづらいところがたくさんあります。

だから、遊具の色を塗り直したり、利用しやすいように草抜きをしたりして、公園をもっと利用しやすいものにしてほしいことと、新たな公園をつくることを提案したいです。

交通をもっと利用しやすくについて。田原本町の車での利用方法としては、タクシーとtawamoがあります。タクシーのよさは、電話をしたらすぐに来てくれることです。一方、課題は、値段が高く、電話をしないと来てくれないことが多いので、急いでいる人には不向きです。

tawamoのよさは、値段が安く、電話をすればすぐに来てくれるので便利です。一方、課題は、tawamoの台数は町内で2台しかないので、その2台のタイミングが合わなければ、電話してもすぐに来てくれないことです。

そこで、お年寄りの方や車を持っていない方、すぐに利用したい方々がもっと気軽に利用しやすくなるために、次のことを提案します。

1つ目は、tawamoの台数を増やすことです。今、2台しかないので、順番待ちが多く発生します。ですが、台数を増やすことによって、順番待ちが少なく、効率よくなるので便利になると思います。

2つ目は、バスのようなtawamoを試行してみることです。毎回tawamoを使う際、急いでいる人は、いちいち電話をする余裕がないかもしれません。だから、一度、バスのように、呼ばれなくても、ある場所まで連れていってくれるtawamoをつくってみるとよいか

もしれません。

このようにして、田原本町に住んでいる方々がもっと豊かに暮らせるように、町の少し不便な面を変えてみてほしいと思います。

以上で壇上からの質問を終わります。

○副議長(梅田遼君) 町長。

○町長(高江啓史君) それでは、3番、吉田幸誠議員の第1番目、「公園の数の少なさについて」のご質問にお答えをいたします。

身近な公園の様子や交通など、地域のことに関心を持ち、利用される方のことを考えながら、より暮らしやすい町にするための具体的な提案をしていただきました。ありがとうございます。

7番、西田議員への答弁と一部同じ内容となりますけれども、現在、町には都市公園と呼ばれる公園が72公園ございます。そのうち、町が直接管理している公園が12公園、自治会で管理をしている公園が60公園ございます。

町で管理している公園で、大和川沿いにある9か所の公園からなるはせがわ展望公園では、利用者が減少する反面、遊具等の老朽化が進み、管理にかかるお金が非常に増加をしています。

また、自治会が管理をしていただいている公園についても、管理する人の不足により、公園の管理が十分に行き届いていない公園もございます。議員のご指摘のとおりかと思えます。

こうした状況の中で、町では、公園の在り方を見直すことが、まず重要だというふうに考えておりまして、複数の公園を1つにまとめて管理をしていく計画を立てることにいたしました。

この計画は、単に公園の数を減らすということではなくて、公園機能を集めて管理対象を絞り、公園の魅力や利用しやすいようにするというふうな考え方としています。

限られたお金や人を有効に活用しながら、公園の特色や役割をはっきりさせて、必要な場所で計画的に整備を進めることで、満足度と公園の価値の向上を図ってまいります。

今年は3月に、防災機能を備えた公園として、「ともぱ！たわらもと」を新しくオープンいたしました。多世代が安心して利用できるよう、大型のトランポリンのほか、年齢や障害の有無にかかわらず利用できる遊具を設置しております。

また、災害時には、防災ヘリコプターの離着陸ができる広場や、かまどベンチ、マンホールトイレなどの防災機能を備え、防災拠点としての機能も担っております。

このように、公園の在り方の見直しは、単なる縮小ではなくて、機能を集めて、残す公園はしっかりと残していこうと、充実を図る考えとしており、特にイベント広場、津島神社です、イベント広場とか「ともぱ！たわらもと」などの利用者の多い公園を、もっと使いやすく、楽しく遊べる場所にできるよう、今後も皆さんの意見をお伺いしながら、多様なニーズに対応できるような公園をしっかりとつくっていきたいと考えています。

続きまして、第2番目、「交通をもっと利用しやすくについて」のご質問にお答えをいたします。

まず、「順番待ちをなくすために台数を増やしてはどうか」につきましては、令和5年11月から1台でスタートしたデマンド交通tawamoについて、今年の4月から2台に増やして運行をしています。

台数を増やすことで順番待ちが少なくなり、より便利になるというふうな吉田議員のご提案のとおり、2台に増やしたことで、実際に大きな改善が見られています。

1台で運行していた頃は、予約が重なってしまい、月に50件ほどお断りをしなければならぬ状況でした。しかし、この4月から2台に増やしてから、お断りをする件数が月に数件まで大幅に減り、多くの方が希望どおりに乗車できるようになりました。台数を増やすことの重要性を、町としても実感をしています。

とはいえ、現在でも午前中は利用希望者が集中しやすく、順番待ちが発生をしてしまうことがございます。そのため、午後のご利用も検討していただけるように、広報紙等で住民の皆さんには呼びかけを行っているところです。

これからも、町民の皆様がより便利にお出かけできるよう、さらなる改善が必要と考えております。ただ、車両を増やしたり、運転手を新しく確保したりするためには、どうしてもお金や時間がかかります。

そのため、どの時間帯で順番待ちが多いのか、どの場所で順番待ちが多いのかなどをしっかりと調べて、車の台数を増やすというふうなご提案がございましたけれども、そういった選択肢も含めて、どのようにすれば一番効率よく、さらに便利になるか、そういった幅広い検討をしていきたいと考えています。

次に、「急いでいる人のために、呼ばなくても乗れるバスがあるといいのではないか」ということにつきましては、町を走る乗り物には、それぞれいいところと難しいところがございます。

例えば、一般的にタクシーは少し料金は高いですが、電話をすれば、すぐに自分のためだけに来てくれます。一方で、デマンド交通tawamoは、料金が安い代わりに、ほかの人との乗り合いになるため、事前の予約が必要となります。

吉田議員が提案をしてくださった、決まった時間を走るバスは、予約が不要であるため大変便利ですが、誰も乗る人がいなくても走らなければならない、無駄が生じてしまうという難しい面もあります。

実は、田原本町でも、令和5年度に決まった時間に決まったルート走るバスを運行する計画を立てていましたが、バスの運行をお願いする会社から、運転手が不足しており、運行を引き受けることができないと断られてしまい、残念ながら、今ご提案をいただいたようなバスの計画は中止せざるを得ませんでした。現在、運転手の不足は全国的に深刻な課題となっています。

そこで、町としては、そういったバスを運行する代わりに、デマンド交通tawamoの走る範囲を、元々の範囲から田原本町全体に、全域に広げたり、利用料金についても、元々500円でした。500円を300円に引き下げたりすることで、皆さんがより使いやすくなるように、方針を切り替えているところでございます。

吉田議員が心配してくださった「電話をする余裕がない」という課題についても、スマートフォンを使って簡単に予約ができる仕組みなどを検討していきたいと考えています。

また、今後、町の利用状況を調べたり、皆様の声をお聞きする中で、同じ時間に同じ方

向へ行きたいと、そういうふうな声が多く集まれば、改めてバスというふうな選択も考えていきたい、バスを走らせることも検討していきたいと考えています。

公共交通は、単なる移動の手段ではありません。人と人、あるいは地域とのつながりを維持し、皆さんが豊かで安心して暮らすために、なくてはならないものです。

だからこそ、「自分の家には車があるから必要ない」というふうに考えるのではなくて、皆さん1人1人が公共交通の大切さを認識し、みんなで守って育んでいくことが重要だと考えています。

これからも、吉田議員のご指摘、ご意見も踏まえて、誰もが使いやすい交通手段の実現に向けて、検討を深めていきたいと思っておりますので、ご協力をどうかよろしくお願いしたいと思います。

以上、答弁とさせていただきます。

○副議長(梅田遼君) 吉田議員。

○3番(吉田幸誠君) ご答弁ありがとうございました。再質問します。

公園の数の少なさについて、「ともぱ！たわらもと」はできましたが、田原本小学校区からは遠過ぎます。近所の公園は、草が伸びていたり、遊具が古かったりすると、安全に遊ぶことができません。実態を見てください。草刈りや遊具の点検を、今より増やすことはできますか。

○副議長(梅田遼君) 町長。

○町長(高江啓史君) ご意見ありがとうございます。今、草刈りの問題とか、あるいは遊具が古くなっているんじゃないかというふうなご指摘があったと思います。おっしゃるとおりだと思います。

これは、公園に限らず、例えば公共施設でも一緒に、人口が減っていく。これはもう日本全体として減っていますけれども、人が減っていったら、これからいろいろなものを集約していかないといけない。お金にも人にも、全てには限りがありますから、そういった中で、公園についても魅力的なものを残さないといけない、つくっていかないといけないとなると、今、実は町内には72の公園がある。結構多いと思いませんか。私は、すごくたくさんあるなと思うんですけど、72の全ての公園を残す必要があるのかというふうに、今、町としては考えています。

むしろ、公園の数は減らすけれども、残す公園については、遊具もちゃんと更新してこう、そして草刈りもしっかりしてこう。今、2つの公園に、例えば毎年10万円、10万円かかっていたものを、1つの公園にしたら20万円かけられるわけです。そうすると、草刈りの数も増やせるし、遊具もきれいになるし、もっとたくさん遊べるものが増えるというふうに考えています。

ですから、お金とか人とか、いろんなものに限りがある中で、皆さんに安心して遊んでいただけるように、今ご指摘をいただいた内容というのは、草刈りの頻度とか、あるいは遊具をもっと新しくできないかというふうなご指摘については、できます。だけど、そのた

めには、何かを集約していかないといけないと考えていますので、皆さんが、「ともぱ！たわらもと」は遠いというのは、おっしゃるとおりかなと思いますので、田原本小学校区の中でも、今、津島神社のイベント広場がありますけれども、遊具も大分古くなっているかなと思いますが、ほかのところでも、公園を集約して行って、一方で、残す公園については、もっともっと魅力的な公園にしていきたいと思いますので、よろしく願いしたいと思います。

○副議長(梅田遼君) 吉田議員。

○3番(吉田幸誠君) 新しい公園をすぐにつくることは難しいと思いますが、学校区ごとに遊び場が足りているか、調べてもらえませんか。

○副議長(梅田遼君) 町長。

○町長(高江啓史君) 学校区ごとに遊び場が足りているかを調べるというのは、子どもたちにアンケートを取るとかということなのかなと思いますが、恐らく、どこの校区も、もっと公園はあったほうが良いという声が多いと思いますし、平野校区については「ともぱ！たわらもと」ができたばかりなので、なかなかないかもしれませんが、恐らく、どこも公園、先ほども別の議員からもしましたが、遊べる公園があったほうが良いというふうな声はあろうかと思うので、各校区ごと、あるいは別の議員の答弁でも申し上げましたが、そもそも校区に縛られる必要なんてないと思うんですね。別に田原本小学校の小学校区の子どもが、平野だって、どこだって行けばいいわけですから。遠いというのはあるかもしれませんが、校区の境に住んでいらっしゃる子どもが、すぐ別の校区に行けるのであれば、それはそれでいいと思いますので、町全体として、校区ごとで考えるのではなくて、町全体として、子どもたちが遊べる環境というのをどうつくっていくかというふうに考えていけたらと思っています。

○副議長(梅田遼君) 吉田議員。

○3番(吉田幸誠君) 時間が来ましたので、最後に、私たち子どもの目線を参考にしてください。

以上で質問を終わります。

○副議長(梅田遼君) 以上をもちまして、3番、吉田幸誠議員の質問を打ち切ります。
暫時休憩します。議長に議事進行をお願いしますので、しばらくお待ちください。

(暫時休憩)
(議長、議長席に着く)

○議長(吉田幸誠君) 再開します。続きまして、7番目の質問者は、1番、梅田遼議員。

○1番(梅田遼君) 議長の許可をいただきましたので、一般質問します。

交流の場をつくることについて。調べたところ、現在は、田原本町には大きな祭りが、津島神社のぎおん祭、鏡作神社の御田祭り、秋祭りなどがあります。

ほかにも祭りなどのイベントがもっと行われたら、住民たちの交流の場も増えるかもしれないし、いい思い出にもなると思います。

例えば、親と子どもが一緒に出し物をする、また、知らない人たちとスポーツをしたりすると、イベントの数も増えて、町がより豊かになると思います。

夏の通学路について。夏の帰り道は、暑いときが多いです。体を冷やすものがない人や、帰るときにいきなり暑くなったりしたときは、お茶があっても熱中症になる可能性があります。

家まで遠い部団の人、例えば学校から家まで30分以上かかる部団の人は、特になりやすいです。

そうならないように、7月と9月の雨以外の日の帰りに、バスでそれぞれの部団の集合場所の近くまで行ってもらおうと、そんなことがなくなると思います。

以上で壇上からの質問を終わります。

○議長(吉田幸誠君) 町長。

○町長(高江啓史君) それでは、1番、梅田遼議員の第1番目、「交流の場をつくることについて」のご質問にお答えをいたします。

子どもから大人まで多くの人が交流し、楽しい思い出をつくることのできる町にしたいというふうな思いが伝わる、大変すばらしいご提案をいただきまして、ありがとうございます。

まず、「ほかにも祭りなどのイベントがもっと行われたら、住民たちの交流の場も増えるかもしれないし、いい思い出になると思う」というふうなご意見については、田原本町では、津島神社の、村屋神社、鏡作神社、池神社の御田祭、御田植祭、秋祭りなど、たくさんの伝統行事が行われています。

また、道の駅レスティ唐古・鍵では、周年祭や秋祭りを開催しておりまして、田原本駅前では、ナイトマルシェなどのイベントが、昨年度は年14回開催をされるなど、町内で開催されるイベントについては年々増えているというふうに認識をしておりまして、まさに町全域で交流の場づくりが進んでいます。

さらに、田原本町商工会の皆さんが開いていただいております、どろんこバレーのようなスポーツイベントもあり、いろいろな団体がそれぞれのやり方で、町がもっと豊かになるように取り組んでいただいております。

最近では、「ともぱ！たわらもと」公園がオープンをいたしましたけれども、そこでは、公園のイベントとして、星空観察イベントや昔遊び、縁日屋台イベント、アイロンビーズ・ガラス風鈴づくりイベントなどを計画しておりますし、既に始めているところでございます。

また、唐古・鍵遺跡史跡公園についても、もっと人が集まるように、先週も子どもたちに向けて、水遊びのイベント「びしょぬれ大作戦」というふうなものを開催し、大変好評でご

ざいました。

今後は、フィンランド発祥のスポーツ、モルックなど、海外で人気のあるスポーツを呼び込むことも計画をしています。

こうした町のイベントは、広報とかLINEなどでお知らせをしておりますので、皆さんもぜひご参加をしていただけたらうれしく思います。

町としても、皆さんが豊かに過ごせるように、これからも頑張っていきたいと思いますので、梅田議員が大人になったときに、田原本町で交流の場をつくる人材に、そういった場に参加するだけじゃなくて、そういった担い手になっていただけることを、心から楽しみにしております。

以上、答弁とさせていただきます。

○議長(吉田幸誠君) 教育長。

○教育長(大村泰弘君) 引き続き、第2番目、「夏の通学路について」のご質問にお答えいたします。

家が遠いお友達の熱中症を心配し、バスの運行というアイデアを提案していただき、ありがとうございます。

帰りのバスの運行ですが、先ほどの議員のなかの答弁にもありましたように、たくさんのバスや運転手さんをすぐに用意するということは、お金や仕組みの面から、今はまだ難しいのが現状です。

現在、学校にはウォータークーラーを設置していますので、下校時に水筒に水がないということのないよう、活用をお願いします。

また、皆さんの体を熱中症から守るため、学校では、帽子の着用を徹底したり、ここ数年の夏の暑さで、急激に学校のルールも変わっていったと思いますが、ネッククーラー、あるいは日傘といったものを使用できるようにもしています。

これらを上手にを使って、登下校中の体を冷やす工夫をお願いいたします。

今後は、通学途中でしんどくなったときに涼める場所を地域に増やしたり、または涼める場所を探す。確か、田原本小学校のほうでは、学期に1回、部団の担当の先生が最後まで皆さんと一緒に歩いて帰るという日があります。

そういうときに、その先生に「夏の暑いときだったら、ここは安全かな」と、そういうふうな声かけをしてほしいと思います。

そしたら教育委員会はそれを受けて、学校の先生と一緒にその場所を確認し、夏の暑いとき、ここなら涼めるのかなとか、そういう場所を発見する、見つける、そういう取組もしていきたいというふうに考えております。

このように、バス以外の方法も含めて、安全に帰れる工夫を学校や地域とともに考えていきたいと思っています。

以上、答弁とさせていただきます。

○議長(吉田幸誠君) 梅田議員。

○1番(梅田遼君) 町長、教育長、ご答弁ありがとうございました。再質問させていただきます。

モルックはどこでする予定ですか。環境省の参考区分により、31度以上は危険とされています。2025年7月は31日中30日、9月は30日中17日が31度以上でした。引き続き対策を考えてください。

○議長(吉田幸誠君) 町長。

○町長(高江啓史君) 大変暑い中で、どこで遊ぶかというのは、1つ大きな課題だと思っています。

モルックについてのご質問であったかなと思いますが、今、唐古・鍵遺跡史跡公園でモルックをしていこうというふうに考えておりますけども、加えて、既に「ともぱ！たわらもと」の、今ちょうど工事をしているんですけど、屋根が付いているところ、屋根付き広場を、明日人工芝を下に張るんですけど、そういうイベントがあるんですが、屋根が付いているところでもできるようにしようと思っておりますので、そちらには、「ともぱ！たわらもと」のほうにはモルックを2台分、2台分というんですか、2基というんですかね、もう既に整備をしておりますので、「ともぱ！たわらもと」でもできますし、そこは屋根が付いたところでできると。

一方で、唐古・鍵遺跡史跡公園でも今後できるようにしたいなと思いますし、今ご指摘をいただいたところでいえば、暑いところだとなかなか長時間はできないというふうなご指摘かなと思いますので、その他の場所でも、これはもうモルックに限らずですけど、皆さんが安全に遊べる環境というのは、しっかりと考えていきたいというふうに思います。

以上です。

○議長(吉田幸誠君) 梅田議員。

○1番(梅田遼君) 以上で質問を終わります。

○議長(吉田幸誠君) 以上をもちまして、1番、梅田遼議員の質問を打ち切ります。

以上をもちまして、一般質問を打ち切ります。

続きまして、感想発表を行います。子ども議員の皆さんから、今日の感想を発表してもらいます。発表は、サポート議員の皆さんによるインタビュー形式で行います。よろしくお願いします。

初めに、1番、梅田議員。

○後藤亮太サポート議員 お疲れさまでした。とても、とても上手にできました。環境省の参考区分まで出していただいて、熱心に再質問もしていただきました。今日の質問は、うまく伝えられたと思いますか。

○1番(梅田遼君) できるだけうまく伝えられたとは思いますが。

○後藤亮太サポート議員 とてもよくできていたと思います。もし、今日の質問に点数をつけるなら、何点でしたか。

○1番(梅田遼君) 90点ぐらい。

○後藤亮太サポート議員 90点。よく頑張ってくれた梅田議員に、もう1回拍手をお願いします。お疲れ様でした。

○議長(吉田幸誠) 続きまして、2番、杉本議員。

○名越豊サポート議員 お疲れさまでした。自分の質問をうまく伝えられたと思いますか。

○2番(杉本陽君) できましたけど、ちょっとだけミスをしてしまったなということがありました。

○名越豊サポート議員 見ていた限り、とてもしっかりと伝わっていたと思います。次に、こんな機会があったら、また参加したいですか。

○2番(杉本陽君) 参加したいです。

○名越豊サポート議員 これからいろいろなことを学んで、もっともっと田原本町にすばらしい意見や質問が出てくると思いますので、田原本の未来のために、今後の杉本議員のご活躍に期待しています。すばらしいご質問、ありがとうございました。

○議長(吉田幸誠) 続きまして、私、3番、吉田です。

○梅谷裕規サポート議員 3番、吉田幸誠議員は、議長役という大役をしていただきまして、そしてさらに、一般質問をするという、非常に濃い時間であったかなと思いますけれども、私のほうから言うのも僭越でございますけれども、両方とも100点満点と私は思うんですけども、まず感想を聞きたいんですが、この場所はこの部屋の中で一番高いところでありまして、ここに座って皆さんを見て、そしていろいろな議事進行をしていって、どんな感想でしょうか。

○3番(吉田幸誠君) いろいろ失敗したりしたけど、うまくやれたのでよかったと思いました。

○梅谷裕規サポート議員 ありがとうございます。それでは、先ほどもありましたけれども、何点満点でしょうか。

○3番(吉田幸誠君) 80点ぐらい。

○梅谷裕規サポート議員 80点ぐらいということで、謙遜しておると思いますけれども、私は本当に100点以上かなと思っておりますけれど、よく頑張ってくださいました。

一般質問のほうも、いろいろしていただきましたけれども、いろいろ質問の内容を考えるに当たって、いろいろ町のことを調べたりしたと思いますけれども、一般質問を考える中で、ちょっと難しかったなとかいうようなところはあるですか。それとも、どなたかに相談しましたか。

○3番(吉田幸誠君) 先生方とかにいろいろ質問したりしてつくって、手伝ってもらったりしたのですけれど、それをうまく発表できてよかったと思いました。

○梅谷裕規サポート議員 ありがとうございます。それでは、議長役については80点。一般質問については何点でしょうか。

○3番(吉田幸誠君) 90点。

○梅谷裕規サポート議員 一般質問は90点ということでございます。そしたら最後に、隣に本当の議長さんがいらっしゃるんです。植田議長さん。自分が議長を1日やってみて、本当の議長さんにちょっと聞きたいなということがありましたら、言ってください。

○3番(吉田幸誠君) 急に言い間違えたりしたら、どんな気持ちになるんですか。

○植田昌孝田原本町議会議長 めちゃめちゃときどきします。

○3番(吉田幸誠君) ありがとうございます。

○梅谷裕規サポート議員 ありがとうございます。

○議長(吉田幸誠君) 続きまして、4番、坂口議員。

○梅本直子サポート議員 今日はトップバッターでしたね。もう最初が、リハーサルの方が一番ときどきしたかと思いますが、どうでしたか、本番は。緊張しましたか。それとも、楽しかったですか。

○4番(坂口颯哉君) すごく、すごく緊張しました。

○梅本直子サポート議員 そんなふうに見えませんでしたよ。すごく堂々とされていたと思います。今日の自分の質問、うまく伝えられたと思いますか。

○4番(坂口颯哉君) 至るところですごく言い間違えたりしたけれども、自分の言いたいことは、ちゃんとはっきり伝えられたと思います。

○梅本直子サポート議員 自分の言いたいこと、みんなの思いも詰まっているんじゃないでしょうか。

○4番(坂口颯哉君) 分かりません。

○梅本直子サポート議員 ありがとうございます。では、またこれを生かして、立派な大人になって、この議場に戻ってきたいと思いませんか。

○4番(坂口颯哉君) 特に思いません。

○梅本直子サポート議員 ありがとうございました。

○議長(吉田幸誠君) 続きまして、5番、向出議員。

○杉岡雅司サポート議員 議員さんがうまく皆さんを誘導されるので、私、しゃべることがなくなってきましたけれども、向出さん、今日はお疲れさまでした。私から1つ、2つお聞きしたいんですけれども、向出さん、今日の質問、未来につながるような質問になったかなと思いましたか。

○5番(向出奈津希君) はい。

○杉岡雅司サポート議員 今、町長が笑っておられますけどね、怖い顔をしているときもよくあるんですけれど、今日の答弁、答えをどう思いましたか。納得いきましたか。

○5番(向出奈津希君) もっと強く返ってくるかなと思ったけれど、優しかった。

○杉岡雅司サポート議員 私たちには厳しいんですよ。今日の質問はとてもよかったと思うんですけれども、自分ではどう思いますか。皆さん、点数を聞いておられたけれども、点数としたら、自分で何点だと思いませんか。

○5番(向出奈津希君) 95。

○杉岡雅司サポート議員 100点という方もいらっしゃるんですけれども、私も100点満点。少し今の質問とは関係ないんですけれども、会ったときに、身長が高いなとは思っていて、私は逆に小さいので、バレーボールをやっているのと聞いたら、やっていますということで、身長も高いし、頑張ってくださいね。以上です。

○議長(吉田幸誠君)　続きまして、6番、福岡議員。

○村上清司サポート議員　6番、福岡望議員に質問をいたします。インタビューですけれども、皆さん結構いろいろな質問をされて、私も質問することがありませんけれども、先ほどリハーサルの際に質問させていただきましたが、今日の子ども議会はどうでしたか。

○6番(福岡望君)　できることはやったと思います。

○村上清司サポート議員　皆さん、点数を聞かれていましたが、何点ぐらいだと自分では思いますか。

○6番(福岡望君)　80点ぐらいです。

○村上清司サポート議員　80点ですか。よかったですね。では次に、こんな機会がまたあったら参加したいですか。

○6番(福岡望君)　ぜひ参加させていただきたいと思います。

○村上清司サポート議員　ありがとうございます。またこんなことがあったら、未来の田原本町のために頑張っていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。以上です。

○議長(吉田幸誠君)　最後に、7番、西田議員。

○前砂政直サポート議員　それでは、最後の締めで、まだ時間も十分あるので、西田君、ゆっくりといろいろなことをしゃべってや。何かね、僕の横におったら緊張して、怖いんかして、怖い。

○7番(西田旬祐君)　怖くないです。

○前砂政直サポート議員　怖くないみたいです。それでは、自分の今日の質問、どうでしたか。

○7番(西田旬祐君)　自分なりに頑張れたと思う。

○前砂政直サポート議員　そうですね。やや緊張していたけれど、よく答えられたと思います。先ほどからみんな言っているけど、今日の質問は点数をつけたら何点ですかね。

○7番(西田旬祐君)　92点。

○前砂政直サポート議員　すごいね、2点がまたすごいですよね。92点。一番最高。

それでは、今の気持ち。今回質問して、どんな気持ちになりましたか。

○7番(西田旬祐君) やっぱり受け入れられて、すごいなと思った。

○前砂政直サポート議員 すすごいなと思ったの。どんなところですか。

○7番(西田旬祐君) みんなの意見を聞いて、それをアドリブで言えて、すごいなと思った。

○前砂政直サポート議員 すすごいね。それで、みんなの意見を聞いて、内容的にどうでした。

○7番(西田旬祐君) みんなのことをよく思って、頑張って書いたんだということがよく伝わった。

○前砂政直サポート議員 よかったですね。将来は田原本町の議員さんとして、ここに今日の経験を生かして立ちたいと思いますか。

○7番(西田旬祐君) あんまり思いません。

○前砂政直サポート議員 残念やな。せっかくの機会だからもっと考えを新たにして、議員さんになるように頑張っていきましょう。

○7番(西田旬祐君) はい。

○前砂政直サポート議員 以上で終わります。

○議長(吉田幸誠) 以上をもちまして、感想発表を終わります。

最後に、挨拶も兼ねまして、田原本町議会、植田昌孝議長から講評をお願いします。

○植田昌孝田原本町議会議長 皆さん、長時間にわたりまして、ありがとうございました。

本日は、田原本町議会の子ども議会に参加していただき、本当にありがとうございました。また、傍聴にもたくさんの皆さんに来ていただきまして、本当に感謝を申し上げたいと思います。

子ども議員の皆さんは、田原本町のこれからについて、日頃感じていること、皆さんの目線から見た町への提案など、すばらしい意見をたくさんいただきました。

皆さんが自分たちの町について真剣に考え、自分の言葉で堂々と発表をしていただき、その姿を拝見いたしまして、私たち議会にとりましても、大変有意義な時間となったと思います。

今日の子ども議会を通して、町議会がどのような仕事をしているのか、また、町をよりよくするために様々な人が話し合い、考えていることを少しでも知っていただけたら、うれしく思います。

そして、今日皆さんが出してくれた意見や提案は、決して今日だけで終わるわけではありません。

私ども田原本町議会といたしましても、皆さんの声を大切に受け止め、これからのまちづくりに生かしてまいりたいと考えております。

皆さんは、これからも自分たちの住む田原本町に関心を持って、「こんな町にしたい」「こんな町になってほしい」、そういう思いを大切にしていきたいと思います。

将来、皆さんの中から、田原本町長や議員に、先ほどなりたくないという意見もありましたけれども、ぜひ、まちづくりを担う人が生まれることを、私たちは大いに期待しているところであります。

最後になりましたが、本日の子ども議会の開催に当たり、高江町長をはじめ町役場の皆さん、ご協力いただきました学校関係者の皆さん、教育委員会の皆様、そして、子ども議員の皆さんを支えていただいておりますご家族の皆様に、心より感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

それでは、これをもちまして、令和8年度田原本町議会主催子ども議会を閉会いたします。

子ども議員の皆さん、本日は本当にお疲れさまでございました。どうぞよろしくお願いします。ありがとうございました。

○議長(吉田幸誠君) 以上をもちまして、本日の議事日程は全て終了しました。皆さん、議事進行にご協力いただき、ありがとうございました。

子ども議長という大役を無事務めることができ、心より感謝を申し上げます。

本日の子ども議員からの意見や提案が、今後、実現につながれば、大変うれしく思います。

これにて、田原本町子ども議会を閉会します。皆さん、ありがとうございました。